



小林市立小林小学校

校長通信

令和6年6月20日

第52号

(文責 校長 吉井秀一)

TEL: (0984) 23-3510

E-mail:1401eb@miyazaki-c.ed.jp

水泳が始まる時期となり

ましたが、いよいよ心配されるのは「熱中症」です。

この時期は、気温や湿度の上昇に「身体が慣れていない。」ことが大きな要因です。

「慣れていない。」というのは、気分や個人の問題ではありませぬ。「汗をかけない。」

「深部体温が下がりがらな

い。」など、一年間の身体のサイクルの中で、だれもがまだ

体温調節機能が追いついていない時期であることを確認しておきましょう。単純に

考えると、同じ条件下でも秋より初夏の方がリスクが高

いと言えるのでしよう。

「お子さんは、自分の平熱を知っていますか？」

「お子さんは自分の体の調子を自分の言葉で伝えることができますか？」

日頃から、自分の体調に関心を持たせることも、大事な予防策のひとつです。

「学校を愛する」かたち

「今年度から小林小学校の

担当となりましたので…」と、

ご挨拶に見えられたのは、都城人権擁護委員の有馬(旧姓…今

針山)泰子さん。お話をしているうちに、有馬さんが小林小学

校の卒業生であることが分かりました。当時の校長先生のお

名前を伺うと「伊藤先生です。」と即座にお答えになりました。

(伊藤博校長 在籍…昭和40

45) : 当時の校長先生というのはインパクトがあつたんだ

なあ。今の子どもたちは、大人になつて私のことなど覚えて

いるはずもない…と思ひながらお話を伺いました。

その頃ひと学級40人以上で、6年生は6学級。全校生徒

が千五百人以上いた最も児童数の多い時代です。久しぶりの

母校。建物は新しいけれども、

そして話題は、興味深いエ

ピソードに…。「北側の道路に

面した桜の木を植えたのは私

たちです。」とおっしゃるので

す。裏の桜の木にまつわる話

は私も初めて耳にします。

「当時、体育館はなく、道路

を挟んだみどり会館を使って

いました。有馬さんがいた6

年一組では、担任の井手口茂

敏先生の発案で、そのみどり

会館の掃除をしようというこ

とになり、毎週土曜日の午後

にみんなボランティアをし

ました。すると、その活動が認

められ、お礼として市?(ちょ

つと不明)から贈られたのが

桜の苗だったそうです。6年

一組では、その桜の苗を敷地

の北側に植えたということ

です。今から五十四年前のお

話です。

今では、通りのシンボルと

なっている桜の木に、こんな

お話があつたんですね。

お話を伺いました。

6年生の国語の学習では、

自分たちでテーマを決めて取

材をし、まとめる学習をして

いました。私のところにも、い

くつものグループが取材に来

ました。

「先生が私たちに望むことは

何ですか。」

私のところにインタビュー

に来るグループのテーマは、

「小林小学校をもっとよくす

るにはどうしたらよいか。」

そんなテーマ設定に何とも

言えない喜びを感じながら、

私の思

いを伝え

ました。

今から五

十年以上

も前の先

輩たちも、

学校をよく

することを

考えていま

した。そし

て、それを

形にし、そ

の成果は今

も学校を彩

っています。

今の私たち

も、自分の学

校のために

できることを

考え、その

思いを「か

たち」にする

行動を受け

継いでいき

たいものです。

「ドッチビー大会」ありがとうございました

再年度から種目や方法を見直したPTA行

事ですが、今年も保護者の皆さんや子どもたち、先生たちとの楽しい時間を過ごすことができました。

準備や運営に当たった保体部の方や参加いただいた皆さん、ありがとうございました。

【お知らせ】

先日、子どもたちの計画委員会が行われ、

子どもたちが考えた

今年の小林小学校のスローガンが決まりました。



整理整頓を心がけ、学校をもっときれいにしていくことや

いじわるや悪口のないきれいな心で

学校を楽しくしたいという願いが込められているそうです。

とてもいいスローガンを決めてくれました。

スローガンが実現するように、いっしょに頑張りましょう。